



兒母里そーだん

こにしのぶはち

二十六

婦人の職掌の中で何が一番大切だと申さば人の妻となり、人の母となりたる後に子供を保育する程大切なるものはあるまいと思わる。婦人として人の妻となりて終るもの少なくないが、これわ色々な事情が障りとなりて止むを得ぬ上のことにて天然の職掌の一を全くせぬといふ責免るとわ出来まい。又人の妻となりて一人も子供の無い人もある、これも羨むべきことでなくて反つて氣の毒の不幸者といわなければならぬ。人の母となりて第一の職掌わ子供の保育なりと

いなければならないが、そむ寒暑の衣服に差支なく飲食に事缺かせぬのみのことでわかない、衛生の道にかないて教育をいたし身體も精神も平等の發達を遂げしめて、天晴の國民となすのである、近年我邦にても女子の教育が重んぜられ高等女學校や、女子師範學校の勃興するの如何にも嬉しきことなれど、徒らに資治通鑑の拔萃よりの漢文や現今の國民にわ餘り耳遠き和文などを交せくり數えて今日用の文通に拙ら誹りあるわ譽むべき事にわあらず、又世界の日本になりたればとて地球上あらゆる國々の地理氣候の巨細の知識もないにわまざるど申しても之れを直ぐ我身に迫り來る母の務たる子供の保育に比べなば、知らでも足る蠻族異民もあるでわなにか、幼兒保育に實に人の母たる責ある女子の身にわ何より大切の務にして只に専門の保母という職名を帯べる人の役でわない、女子と生れた人々

の必らず豫習せぬでわならぬ課業ならぬか？、左れば高等女學校や女子師範學校の課目にわ是非共に幼兒保育の一課を加へ若し之がために既定の時間にてわ加うべき餘地なくば學識を銜う外には餘り實用なき學課を廢するか其時間を減するかして將に迫り來らんとする母の豫習たる幼兒保育の一課を加うべきでわなにか？、幼稚園の東洋で極端なる我皇國まで今日のごとく盛に行わる勢となりたるわフレーベル氏の教育法の卓絶せるによるとわ申せ一にわ之を助成せる偉大なる力なる男爵夫人マールンホルツビュロー氏が陰に陽にフレーベル氏を助けて自ら弟子と稱し幼稚園の普及を圖りたる功績わフレーベル氏の創見の功にも譲らぬものである、嘗て普國政府のフレーベル氏の甥カールフレーベル氏の自由主義の雜誌を發行したるを人達してフレーベル氏が時の政府に不満を抱き國民の幼兒よ

り自由主義を吹き込みむものと誤り幼稚園の幼児の活潑なるを見てわ等閑に附しがたしとなし幼稚園禁止令を發したる時に際して此夫人が當路者に建議論を奉り國民に向つて普及の演説を繰返すなど中々通常男子も及ばぬ程なりしといふ此夫人が師範學校課程中に幼児保育の一課を加えんとを主張せし語の中に亞弗利加内部の記事亞細亞極東の氣候、果して母の責務たる幼児保育の一課を差置さても教えなくてわならぬ程の値あるか、幼児保育法の發見せられざりし昔時に制定せられたる課程及時間割を今日此新教育の大發見ありしに拘らず、變更するを躊躇するわ何たる迂遠ぞと、予も今此夫人の語を借りて全國女子教育に従事せらるゝ當職の方にわ勿論年少の婦人の方々にわ幼児の保育の保姆の專業にあらで近く我身に迫る大責任なりと覺悟せられんことを勸告して止まないが、更に保姆諸君に

向つてわ婦人と子供と申す屈竟の機關の出來たるを幸として全國幼稚園若くは高等女學校女子師範學校に従事せらるる方々に各地固有の子守歌を徵收せられんことを偏に希望するなり、此事わ嘗て音樂學校教授小山作之助君に話したこともあり、同君も非常の賛成にて自ら従事せんといわれしが或は既に集め畢られたらんも知る可らず左れば之を借りて毎號に分載すること乞われたし、時事新報に昨年登載せられたるもあり今の時にわたり我國各地固有の子守歌を集むるわ此雜誌が他に卒先すべき義務と思わるが如何？、



學 術

獅子の 話

佐藤禮介

前回には、岩川先生が動物中にて最も目出度いもの